

## 資料5

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会  
共同利用・共同研究拠点に関する作業部会  
特色ある共同利用・共同研究拠点に関する専門委員会  
(第7期-第6回)H26.9.30

# 特色ある共同利用・共同研究拠点におけるプログラム・アドバイザーの設置について

## 1. 経緯等

- 「平成25年度「特色ある共同利用・共同研究拠点」の認定に係る審議状況とその検証結果について」(平成25年12月3日特色ある共同利用・共同研究拠点に関する専門委員会決定)において、各拠点における事業の進捗状況の把握、指導・助言、情報提供等を目的として、各拠点においてプログラム・オフィサーを配置するよう指摘(下記参照)。

### 平成25年度「特色ある共同利用・共同研究拠点」の認定に係る審議状況とその検証結果について(抄)

平成25年12月3日 科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会  
共同利用・共同研究拠点に関する作業部会 特色ある共同利用・共同研究拠点に関する専門委員会決定

(意見等)

認可後、全国の共同利用・共同研究拠点として活動するためには、それぞれの委員が分担して、プログラム・オフィサーとして何かからの関わりを持つことが必要ではないか。

(対応案)

「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」事業委員会においては、1) 拠点が実施する事業の進捗状況の把握、2) 拠点に対する指導・助言、3) 情報提供などを目的として、各拠点にプログラム・オフィサーを配置し、その役割を果たしてきている。同様にプログラム・オフィサーとしての関わりを持つこととしてはどうか。

- 当該指摘等を踏まえ、平成26年2月20日に開催された第7期第4回専門委員会において、各採択拠点に対してプログラム・オフィサー機能を持つ「プログラム・アドバイザー」の設置の方向性について了承。
- 本日は、その具体的な実施方法等について御審議いただきたい。

## 2. 趣旨

特色ある共同利用・共同研究拠点における研究者コミュニティの意向を反映させた拠点の運営状況、共同利用・共同研究の実施状況等について、効果的にフォローアップを実施するために、各拠点の事業についての指導・助言、フォローアップ等を行う「プログラム・アドバイザー」を設置する。

## 3. プログラム・アドバイザーの役割

- 共同利用・共同研究拠点における事業の進捗状況等の把握
- 共同利用・共同研究拠点への指導・助言
- 各種情報提供 等

## 4. 具体的な機能等について（案）

### （1）プログラム・アドバイザーの配置について

- 効果的・効率的なフォローアップの実施のため、プログラム・アドバイザーによる指導・助言については、共同利用・共同研究拠点として認定間もない、スタートアップ段階にある拠点を中心に実施することとし、下記の11拠点を対象として、主担当1名、副担当1名の計2名の配置を行う（平成27年度新規拠点認定に伴って追加で配置予定）。
  - ・平成25年度認定 6拠点
  - ・平成26年度認定 5拠点（補助金による支援を行っていない2拠点含む）
- 配置期間は、各拠点の認定期間の前半3年間までとする。
- プログラム・アドバイザーは、本専門委員会委員から選任することとし、その任期は、専門委員会委員の任期の範囲内とする。
- 配置対象拠点一覧及びプログラム・アドバイザーの各拠点への配置（案）については、別紙1参照。

### （2）プログラム・アドバイザーの機能について

- 研究現場の視察及び意見交換（現地調査）の実施（下記（3）参照）
- 事務局（文部科学省学術機関課）を通じての拠点からの相談への対応  
プログラム・アドバイザーの氏名、職名等について拠点に対して通知。事務局を通じて、拠点からの相談等を受け付け、必要に応じて指導・助言等を行う。
- 拠点が実施する運営会議、シンポジウム等への参加（任意） 等

### （3）具体的な指導・助言体制について（現地調査等）

- 実施イメージは、別紙2のとおり。
- 年1回程度、各拠点に対して、別紙3「活動状況確認票」の作成依頼を行う（本年度は10月上旬作成依頼予定）。「活動状況確認票」により、拠点における活動状況について書面にて把握するとともに、プログラム・アドバイザーによる現地調査の希望の有無についても確認する。

#### **【現地調査の希望がなかった拠点について】**

- 各プログラム・アドバイザーにおいて、拠点から提出された「活動状況確認票」の内容を確認し、別紙4「所見記入シート」に沿って質問、意見等を事務局まで提出する。
- 質問事項については、事務局を通じて拠点に対して確認を行うとともに、意見等については、主担当、副担当の意見等を事務局においてとりまとめ、別紙5「活動状況に係る所見通知書」にて各拠点に通知（文部科学省から所見の公表は行わない）。

### **【現地調査の希望があった拠点について】**

- 関係者の日程調整の上、研究現場の視察及び意見交換を実施する。なお、拠点から提出された「活動状況確認票」は、現地調査実施前に各プログラム・アドバイザーに対して事前提供を行う。拠点側出席者は、拠点代表者、担当教員、大学事務局の出席を、プログラム・アドバイザー側は、プログラム・アドバイザー（主担当、副担当）、学術機関課を想定。
- 現地調査結果を踏まえ、プログラム・アドバイザーは別紙4「所見記入シート」に沿って意見等を事務局まで提出する。
- 事務局において、主担当、副担当の意見等を取りまとめ、別紙5「活動状況に係る所見通知書」にて各拠点に通知する（文部科学省から所見の公表は行わない）。

### **(4) 平成26年度におけるスケジュールについて**

- 平成26年 9月30日（本日） 実施方法等について決定
- 平成26年10月上旬 文科省から各拠点に対して活動状況確認票の作成依頼
- 平成26年10月中旬 各拠点からの回答期限
- 平成26年11月から随時 現地調査、調書の書面確認等の実施

### ■平成25年度認定拠点

大学種別	大学、研究所名	研究所名	拠点名	分野	補助金による支援期間 (予定)	文部科学大臣認定期間
公立	和歌山県立医科大学	みらい医療推進センター	障害者スポーツ医科学研究拠点	疫学・予防医学	平成25～27年度	平成25～30年度
私立	東京農業大学	生物資源ゲノム解析センター	生物資源ゲノム解析拠点	生物資源ゲノム解析	平成25～27年度	平成25～30年度
私立	法政大学	野上記念法政大学能楽研究所	能楽の国際・学際的研究拠点	芸術一般	平成25～27年度	平成25～30年度
私立	東京工芸大学	風工学研究センター	風工学研究拠点	風工学、建築環境・設備、建築構造、都市計画	平成25～27年度	平成25～30年度
私立	愛知大学	三遠南信地域連携研究センター	越境地域政策研究拠点	社会システム工学・安全システム	平成25～27年度	平成25～30年度
私立	京都造形芸術大学	舞台芸術研究センター	舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点	芸術一般	平成25～27年度	平成25～30年度

### ■平成26年度認定拠点

大学種別	大学、研究所名	研究所名	拠点名	分野	補助金による支援期間 (予定)	文部科学大臣認定期間
公立	大阪市立大学	都市研究プラザ	先端的都市研究拠点	複合領域、人文学、社会科学	平成26～28年度	平成26～31年度
私立	明治大学	先端数理科学インスティテュート	現象数理学研究拠点	数物系科学、数学、数学基礎・応用数学	平成26～28年度	平成26～31年度
私立	立命館大学	アート・リサーチセンター	日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点	文化情報学	平成26～28年度	平成26～31年度
私立	昭和大学	発達障害医療研究センター	発達障害研究拠点	複合領域、脳科学、基盤・社会脳科学	—	平成26～31年度
私立	中部大学	中部高等学術研究所国際GISセンター	問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点	地球情報科学、地球人間圏科学、継続可能システム	—	平成26～31年度

## プログラム・アドバイザーの各拠点への配置について(案)

◎	= 主担当
○	= 副担当

### ■平成25年度認定6拠点

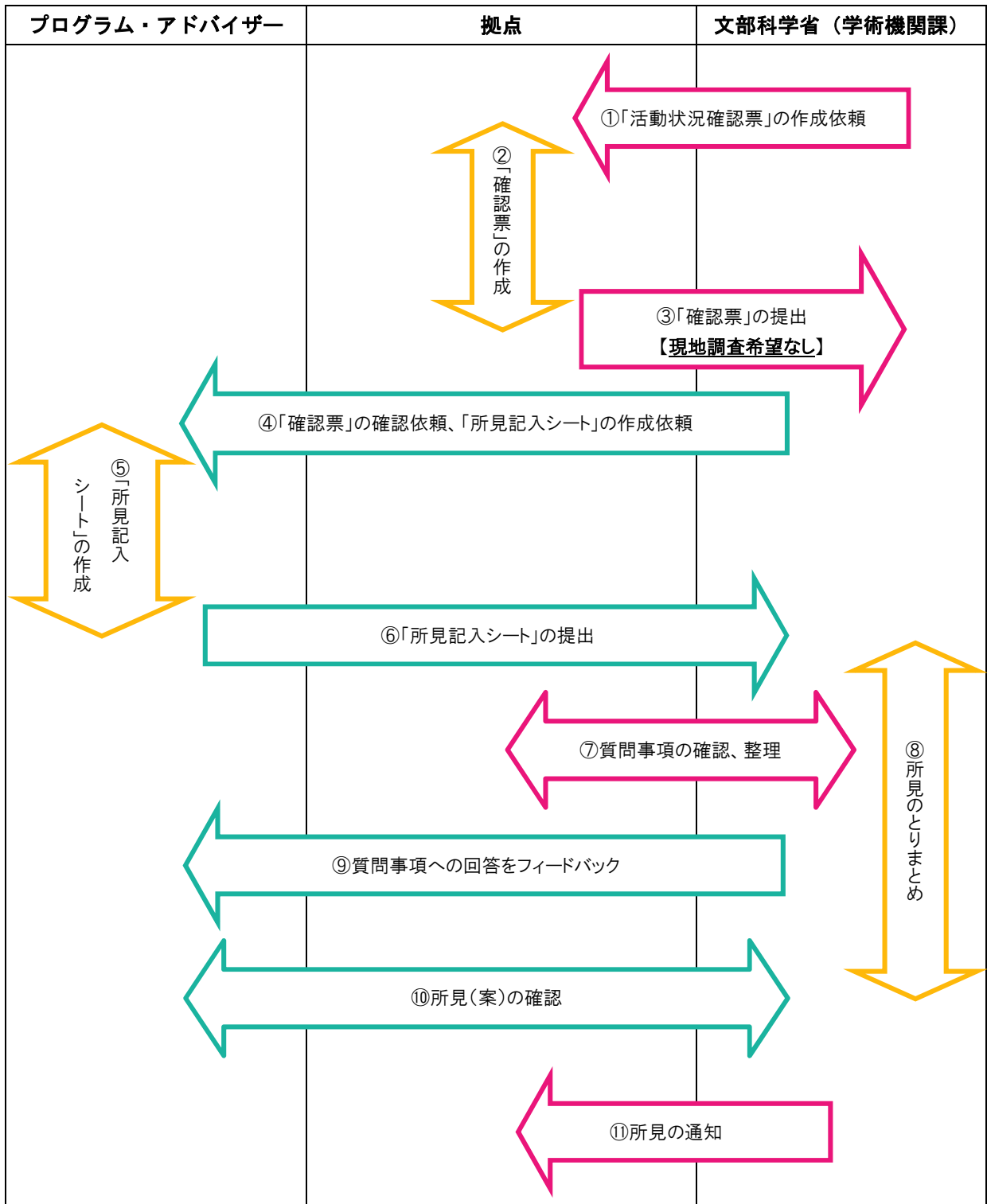
大学名 拠点名称	研究分野	八田委員 (経済学)	稲永委員 (農学)	甲斐委員 (刑法、 医事法)	加藤委員 (地域研究)	佐藤委員 (植物遺伝 学)	仙波委員 (医学)	高柳委員 (物理学)	徳井委員 (西洋服飾 史)	中島委員 (構造工学、 地震工学)	奈良委員 (生活科学、 家政学)	龍委員 (環境工学、 建築デザイン)
和歌山県立医科大学 障害者スポーツ医科学研究拠点	疫学、予防医学					◎						○
東京農業大学 生物資源ゲノム解析拠点	生物資源ゲノム解析		◎				○					
法政大学 能楽の国際・学術的研究拠点	芸術一般			◎							○	
東京工芸大学 風工学研究拠点	風工学、建築環境・設備、 建築構造、都市計画							○		◎		
愛知大学 越境地域政策研究拠点	社会システム工学・ 安全システム	○			◎							
京都造形芸術大学 舞台芸術作品の創造・受容のための領域横 断的・実践的研究拠点	芸術一般								○		◎	

### ■平成26年度認定5拠点

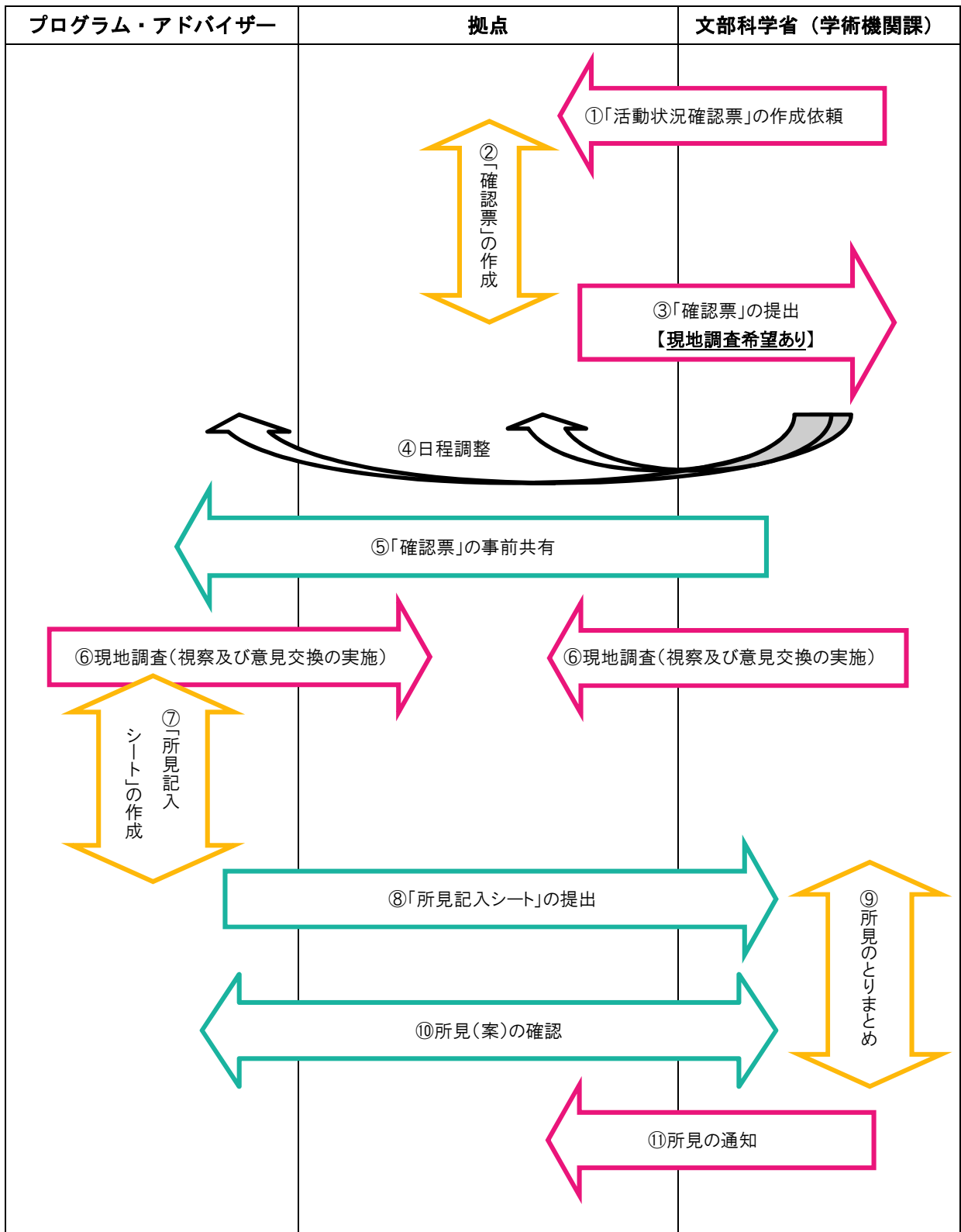
大学名 拠点名称	研究分野	八田委員 (経済学)	稲永委員 (農学)	甲斐委員 (刑法、 医事法)	加藤委員 (地域研究)	佐藤委員 (植物遺伝 学)	仙波委員 (医学)	高柳委員 (物理学)	徳井委員 (西洋服飾 史)	中島委員 (構造工学、 地震工学)	奈良委員 (生活科学、 家政学)	龍委員 (環境工学、 建築デザイン)
大阪市立大学 先端的都市研究拠点	複合領域、人文学、社会 科学				○							◎
明治大学 現象数理学研究拠点	教務系科学、数学、数学 基礎・応用数学		○					◎				
立命館大学 日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点	文化情報学					○			◎			
昭和大学 発達障害研究拠点	複合領域、脳科学、基盤・ 社会脳科学			○			◎					
中部大学 問題複合体を対象とするデジタルアース共同 利用・共同研究拠点	地球情報科学、地球人間 圏科学、持続可能システ ム	◎								○		

プログラム・アドバイザーによる拠点への指導・助言体制イメージ

1. 現地調査（研究現場の視察及び意見交換）の希望がなかった場合



2. 現地調査（研究現場の視察及び意見交換）の希望があった場合



## 特色ある共同利用・共同研究拠点の活動状況確認票（案）

大学名	
拠点名	
拠点代表者氏名	

## 1. 特色ある共同利用・共同研究拠点の活動状況について

<p>共同利用・共同研究の実施状況について</p> <p>【記載の観点例】</p> <p>○研究課題の公募・採択状況（申請件数、採択件数）      ○共同研究者の受入れ状況（受入数）</p> <p>○共同研究の内容に研究者コミュニティの意向をどのように反映しているか（運営委員会での議論の状況等）    等</p>
<p>学術資料・データベース・研究設備等の整備状況について</p> <p>【記載の観点例】</p> <p>○学術資料等の収集、データベースの構築</p> <p>○学術資料、研究設備等の利用状況、データベースの活用（アクセス）状況    等</p>
<p>学内の支援体制について</p> <p>【記載の観点例】</p> <p>○拠点に対する学内予算の状況      ○拠点の人員の状況      ○その他、拠点に対する全学的な支援があるか    等</p>
<p>特筆すべき成果・実績について</p>
<p>その他</p> <p>【記載の観点例】</p> <p>○共同利用・共同研究者に対する支援（研究スペース、学内施設等の活用）      ○研究成果の発信</p> <p>○研究動向（研究者コミュニティの意向）の把握      ○研究者コミュニティへの情報提供    等</p>

（注1）文部科学大臣認定以降、平成27年3月までの予定を含めて、拠点の活動状況を簡潔に記載願います。記載に当たっては、可能な限り、定量的な数値や具体的な事例等を用いて記載願います。

（注2）共同利用・共同研究拠点形成事業費補助金の交付申請書別紙の事業計画書との対応に留意して記載願います。

（注3）本調書の内容は、科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会における審議に当たって活用させていただきます。



## 2. 平成27年度の活動予定について

共同利用・共同研究の実施について
学術資料・データベース・研究設備等の整備について
その他

(注) 現時点で計画している来年度の活動予定について記載願います。記載に当たっては、可能な限り、定量的な数値や具体的な事例等を用いて記載願います。

## 3. 留意事項への対応状況について

留 意 事 項	
対 応 状 況	

(注1) 文部科学大臣認定に当たって付された留意事項への対応状況について、簡潔に記載願います。記載に当たっては、可能な限り、定量的な数値や具体的な事例等を用いて記載願います。

## 4. プログラム・アドバイザーとの意見交換（現地調査）の希望について

希望する		希望しない	
------	--	-------	--

**特色ある共同利用・共同研究拠点  
プログラム・アドバイザー所見記入シート（案）**

プログラム・アドバイザー氏名	大学名	
	拠点名	
	拠点代表者氏名	

**1. 拠点活動状況等の確認について**

**（共同利用・共同研究の実施状況について）**

【観点例】

- ・ 研究課題の公募・採択状況（申請件数、採択件数）
- ・ 共同研究者の受入れ状況（受入数）
- ・ 共同研究の内容に研究者コミュニティの意向をどのように反映しているか  
（運営委員会での議論の状況等） 等

ご意見等：

**（学術資料・データベース・研究設備等の整備状況について）**

【観点例】

- ・ 学術資料等の収集、データベースの構築等
- ・ 学術資料、研究設備等の利用状況、データベースの活用（アクセス）状況 等

ご意見等：

**（学内の支援体制について）**

【観点例】

- ・ 拠点に対する学内予算の状況
- ・ 拠点の人員の状況
- ・ その他、拠点に対する全学的な支援があるか 等

ご意見等：

## (その他)

### 【観点例】

- ・ 共同利用・共同研究者へ対する支援（研究スペース、学内施設等の活用）
- ・ 研究成果の発信
- ・ 研究動向（研究者コミュニティの意向）の把握
- ・ 研究者コミュニティへの情報提供 等

ご意見等：

## 2. 拠点の問題点・改善点について

### 【観点例】

- ・ 運営面（運営委員会の実施等）
- ・ 研究面（研究課題の公募・採択等）
- ・ 体制面（研究体制、事務支援体制）
- ・ 研究環境（施設、設備、学術資料、データベース等）
- ・ 当該分野の研究動向（研究者コミュニティの意向）の把握
- ・ 拠点からの要望 等

ご意見等：

## 3. 拠点の今後の方向性について

### 【観点例】

- ・ 当該分野の発展のための新たな取り組み
- ・ 今後拠点で取り組むべき共同研究課題

ご意見等：

## 4. その他

ご意見等：

特色ある共同利用・共同研究拠点  
活動状況に係る所見通知書（案）

大 学 名	
拠 点 名	
拠 点 代 表 者 氏 名	

**【所見】**

--